

第1回 気象レーダー作業班 資料 気レ作1-1

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
気象レーダー作業班 運営方針

「陸上無線通信委員会」（以下「委員会」という。）において、必要とする情報の収集や調査を行いつつ、審議を促進させるため、委員会に「気象レーダー作業班」（以下「作業班」という。）を設置する。

1 作業班の構成

- (1) 作業班は、委員会の主査から指名された者により構成される。
- (2) 作業班に主任を置き、委員会の主査から指名された者がこれに当たる。
- (3) 作業班に主任代理を置くことができ、主任から指名された者がこれに当たる。

2 作業班の運営

- (1) 主任は、作業班を主催する。
- (2) 主任代理は、主任が不在のときにその職務を代行する。
- (3) 主任は、作業班を招集する。また、作業班を収集する際は、構成員に予め日時、場所及び議題等を通知する。
- (4) 主任は、構成員に調査研究又は情報提供の協力を求めることができる。
- (5) 主任は、必要があるときには、作業班に必要と認める者の出席を求め、意見を述べさせ又は説明させることができる。
- (6) その他、作業班の運営は主任が定める。

3 会議及び資料の公開

会議及び資料は、次の場合を除いて原則公開する。

- (1) 会議及び資料を公開することにより、当事者又は第三者の権利、利益及び公共の利益を害するおそれがある場合。
- (2) その他、主任が非公開とすることを必要と認めた場合。

4 サブ・ワーキング・グループの構成及び運営

- (1) 主任は、作業班で審議する事項について、特に専門的な審議を行う必要があると認めるときは、サブ・ワーキング・グループを置くことができる。
- (2) サブ・ワーキング・グループは、主任から指名された者により構成される。
- (3) サブ・ワーキング・グループにリーダーを置き、主任から指名された者がこれに当たる。
- (4) その他、サブ・ワーキング・グループの運営はリーダーが定める。

5 事務局

事務局は、総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室とする。

気象レーダー作業班 構成員名簿(案)

(敬称略、五十音順)

	氏 名	所 属
主任	川西 哲也	早稲田大学 教授
主任代理	牛尾 知雄	首都大学東京 教授
	中村 健治	獨協大学 教授
	相川 和則	電気事業連合会 情報通信部 副部長
	石垣 悟	日本無線(株) 担当部長
	柿元 生也	三菱電機(株) 主席技師長
	工藤 則安	気象庁 観測部 観測課 調査官
	小出 孝治	(国研)宇宙航空研究開発機構 周波数管理室 室長
	佐藤 常人	国土交通省 大臣官房技術調査課 電気通信室 課長補佐
	清水 昭典	古野電気(株) システムソリューション ビジネスユニット ソリューション開発2課 課長
	正源 和義	(株)放送衛星システム 総合企画室 専任部長
	鷹取 泰司	(一社)電波産業会 無線 LAN 開発部会 副委員長
	田北 順二	(一社)全国船舶無線協会 水洋部会 事務局長
	田島 慶一	スカパーJSAT(株) 技術運用部門 放送技術本部システム技術部 放送技術主幹
	龍野 真哉	海上保安庁 総務部情報通信課システム整備室 課長補佐
	田中 祥次	NHK放送技術研究所 伝送システム研究部
	田村 知紀	全日本空輸(株) 整備センター 技術部 電装技術チーム
	初村 明敏	国土交通省 航空局 交通管制部 管制技術課 航空管制技術調査官
	花土 弘	(国研)情報通信研究機構 電磁波研究所 リモートセンシング研究室 研究マネージャー
	松田 圭太	防衛省 整備計画局 情報通信課 防衛部員
	山口 貴洋	住友電設(株) 通信システム事業部 広域通信システム部 部長
	山路 昭彦	(一財)日本気象協会 防災ソリューション事業部 部長
	山本 雅也	(株)ウェザーニューズ 執行役員
	横山 悠	(株)JAL エンジニアリング 技術部 システム技術室電装技術グループ
	米本 成人	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所 上席研究員
	和田 将一	東芝インフラシステムズ(株) 課長
オブザーバー		

※「オブザーバー」の参加条件は別添のとおりである。

C帯サブ・ワーキング・グループ 構成員名簿(案)

(敬称略、五十音順)

	氏 名	所 属
リーダー	中村 健治	獨協大学 教授
	稲見 敏之	国土交通省 大臣官房技術調査課 電気通信室 係長
	岡田 良教	電気興業(株) 機器統括部 技術部 専任課長
	工藤 則安	気象庁 観測部 観測課 調査官
	斎藤 浩二	住友電設(株) 通信システム事業部 事業企画部 課長
	鈴木 聡	電気事業連合会 情報通信部 副長
	花土 弘	(国研)情報通信研究機構 電磁波研究所 リモートセンシング研究室 研究マネージャー
	羽田 利博	日本無線(株) 担当課長
	松田 知也	三菱電機(株) チームリーダー
	和田 将一	東芝インフラシステムズ(株) 課長
オブザーバー		

X 帯サブ・ワーキング・グループ構成員名簿(案)

(敬称略、五十音順)

	氏 名	所 属
リーダー	牛尾 知雄	首都大学東京 教授
	飯田 秀重	(一財)日本気象協会 主任技師
	稲見 敏之	国土交通省 大臣官房技術調査課 電気通信室 係長
	猪上 華子	気象庁 気象研究所 気象衛星・観測システム研究部第四研究室 研究官
	岡田 良教	電気興業(株) 機器統括部 技術部 専任課長
	柿元 生也	三菱電機(株) 主席技師長
	川辺 俊和	(国研)宇宙航空研究開発機構 周波数管理室 主任
	手柴 充博	(株)ウェザーニューズ レーダープロジェクトリーダー
	花土 弘	(国研)情報通信研究機構 電磁波研究所 リモートセンシング研究室 研究マネージャー
	羽田 利博	日本無線(株) 担当課長
	廣瀬 孝睦	古野電気(株) SSBU ソリューション開発2課 主任技師
	前坂 剛	(国研)防災科学技術研究所
	和田 将一	東芝インフラシステムズ(株) 課長
オブザーバー		

オブザーバーの参加について(案)

本作業班(サブ・ワーキング・グループを含む)における議論や討議に当たっては、主任の了解を得た上で、構成員以外に「オブザーバー」が参加できる。また、作業班及びサブ・ワーキング・グループにおけるオブザーバーの発言等の扱いは以下のとおりとする。

- 1 オブザーバーとしての参加者は、原則として気象レーダーと周波数帯を共用する他システムの関係者とする。なお、同じ組織から複数名を選出することもできる。
- 2 オブザーバーは、構成員と同様に、構成員名簿に氏名等を記載し、作業班及びサブ・ワーキング・グループにおいて発言することができる。
- 3 会議におけるオブザーバーの議事、配席等の扱いは事務局に一任する。

	氏 名	所 属
オブザーバー	中島 英雄	国土交通省航空局 交通管制部 管制技術課技術管理センター 次席技術管理管制技術官
オブザーバー	濱中 太郎	日本放送協会 技術局 計画部